



たくさんの「学び」と
出会える場所



医療法人 桜十字

桜十字病院

薬剤科
募集案内



医療法人 桜十字

桜十字病院

WELL-BEING FRONTIER

人生 100 年時代の生きるを満たす。

私たちのフィールドはカラダだけでなく、

カラダ・ところ全部になる。

身体的・精神的・社会的。それらを包括的に捉えてこそ、

人生 100 年時代のウェルビーイングの地平を拓き、

リードする企業になれる。

食、エンタテインメント、インテリア、アート、

住まいだってやるべき領域になっていく。

医療から、人々の健康と豊かさにつながるものすべてへ。

桜十字グループは、これからも企業再生・事業創造・

社会創生し、どこまでもこの国の生きるを満たしていく。



メディカル事業 ヘルスケア事業 フィットネス事業 経営コンサルティング事業 スポーツ事業
ホテルリゾート事業 レジャー事業 海外事業 美容事業 人材事業 街づくり事業

桜十字病院について

熊本県内の民間病院で最大規模の病床を有するケアミックス型病院です。回復期リハビリテーション病棟、地域包括ケア病棟、障害者施設等一般病棟、緩和ケア病棟、特殊疾患病棟、医療療養病棟（在宅復帰強化型）など、さまざまな機能の病床があります。

病院理念

桜十字に関わる全ての人が幸せとなるモデルを全国へ
～ Happy Spiral ～

医療・福祉・予防医療を通じて

「患者さま」「地域の方々」「職員」

三者すべてが幸せとなるモデルを築き全国に情報発信を行い、

日本全土の地域医療の向上を目指す。

総病床数 630 床

回復期リハビリテーション病棟 60 床 / 13 対 1

地域包括ケア病棟 45 床 / 13 対 1

障害者施設等一般病棟 163 床 / 10 対 1

緩和ケア病棟 25 床 / 7 対 1

特殊疾患病棟 60 床 / 10 対 1

医療療養病棟（在宅復帰強化型）277 床 / 20 対 1

桜十字の薬剤科について

薬剤科では、医療の質への貢献、医療安全への貢献を理念とし、患者さまにとって有効性、安全性に優れた薬物治療を提案・評価・実践することを基本方針として業務を行っています。



薬剤科実績

●処方箋発行件数（2023年）



処方箋 **77,324** 枚



注射箋 **47,990** 枚

●疑義照会件数（2023年度）



1,235 件

●無菌調整件数（2023年度）



296 件

(抗がん剤 31 件、中心静脈栄養 265 件)

スタッフ紹介

■スタッフ構成



薬剤師 **16** 名



薬局助手 **4** 名



事務 **1** 名

■年齢構成



40代 **5** 名



30代 **3** 名



20代 **8** 名

■男女比



1 : 1



■出身大学

熊本大学・崇城大学・福岡大学・長崎大学



目次



取り組み
03-04



仕事の流れ
05



スタッフインタビュー
06



福利厚生
07



グループ概要
08



内服薬・外用薬の調剤業務



電子カルテで入力した医師からの処方をもとに、投与量、用法、相互作用など、患者 1 人 1 人に適正な処方になっているかを確認して調剤を行っています。当院では、医療安全の観点から原則として一包化調剤を行っています。一包化調剤の安全性の向上と効率化のために2022年に調剤機器を一新し、一包化監査支援装置 (MDM) を導入しました。

また、錠剤自動仕分返納装置 (GENIE) も導入しており、薬剤の仕分け業務を学習機能を搭載した機械で行っています。

注射薬の調剤



電子カルテで医師が処方入力した処方に基づき、投与量、投与方法、配合変化、患者毎の病態に合っているかの確認を行い、調剤、処方鑑査を行います。2024年からは注射調剤業務の効率化、病棟での適正な薬剤管理のために注射薬カートを用いた調剤を開始し、注射薬をよりわかりやすく安全に調剤・管理できるようになりました。

病棟業務

各病棟に担当薬剤師を配置し、各種カンファレンス・病棟回診への参加、薬剤管理指導業務を行っています。



注射の無菌調整

中心静脈栄養、抗がん剤は、薬剤師が無菌調整室でガウン、手袋などを着用して調整を行っています。生体曝露への影響が懸念される抗がん剤に対しては、閉鎖式器具を用いて調整を行っています。



医薬品情報業務

医薬品情報の収集・評価を行い、医薬品の適正使用のために必要な情報を院内に発信しています。また、月に 1 回、院内医薬品情報誌 (DIニュース) を発行し、院内で発生した副作用の報告なども行っています。



血中薬物濃度モニター (TDM) 業務

薬剤の中には薬剤の血中濃度を測定し、患者個々に適した投与量に調節する場合があります。特に抗MRSA薬は初回投与設計から薬剤師が関与し、感染症治療に寄与しています。



チーム医療への参画

院内には職種横断的な専門医療チームがあります。抗菌薬適正使用チーム (AST)、感染制御チーム (ICT)、栄養サポートチーム (NST)、口食 (摂食嚥下) チーム、褥瘡チームなど様々なチームで薬剤師が活躍しています。



調剤用設備の紹介

全自動錠剤分包機 (Xana-UF)



電子カルテからの処方情報を基に一包化調剤を行います。錠剤の補充時にはバーコード認証が必要で、安全性の高い一包化調剤が行えます。また、ユニバーサルリーダーを搭載しており、錠剤カセットがなくても手撒きコンベアを使うことなく、バーコード認証したうえで汎用カセットとして使用できます。

散薬分包機 (Ai-8080win)



電子カルテからの情報を基に、散薬の分包を行います。散薬監査システムを導入しており、薬剤の種類や量が処方通りかを機械が判定したうえで分包を行います。円盤が2個搭されており、効率よく散薬調剤ができます。

錠剤自動仕分け返納装置 (Genie)



返品された錠剤分包品を薬品種ごとに自動仕分けを行います。仕分けた錠剤はQRコードが発行され、コード認証をしたうえで安全に錠剤分包機に返納されます。

錠剤一包化鑑査支援システム (MDM)



一包化された錠剤を一包ごとに撮影・解析し、処方内容と薬剤の現物に相違がないかをチェックします。鑑査時には薬包に印字されたバーコードで解析結果を呼び出すことができ、鑑査業務の負担軽減に役立っています。また、撮影した画像をログとして担保できるため、薬剤払出後に問い合わせがあった場合に確認することができます。

認定薬剤師

当院では、専門性を高めチーム医療の中で医療の質の向上に貢献できる薬剤師を育成するために、認定薬剤師の取得を支援しています。

認定取得の支援内容

学会・研修会参加への病院の補助（院内規定あり）	認定薬剤師に手当を支給
-------------------------	-------------

在籍している認定薬剤師

日病薬病院薬学認定薬剤師：7名	認定実務実習指導薬剤師：2名
NST 専門療法士：2名	抗菌化学療法認定薬剤師：1名
リウマチ財団登録薬剤師：1名	公認スポーツファーマシスト：1名
薬剤師研修センター研修認定薬剤師：1名	医療安全管理者（日本精神科病院協会）：1名
熊本地域糖尿病療養指導士：1名	

勉強会

薬剤科では月に2回製薬メーカーによる商品説明会、月に1回薬剤師が持ちまわりで症例報告等を関連病院の薬剤師と合同で開催されています。



薬学実務実習受け入れ人数

2024年度	4名（崇城大学、九州医療科学大学、大谷大学、同志社女子大学）
2023年度	2名（崇城大学、横浜薬科大学）
2022年度	4名（崇城大学、広島国際大学）
2021年度	2名（崇城大学）
2020年度	2名（崇城大学）
2019年度	2名（崇城大学）



薬剤師の1日を紹介

この先輩に聞いてみました！

私は現在、呼吸器・循環器の病棟を担当し、病棟業務を中心に行っています。医師や看護師と連携しながら、患者さんの薬物療法が最適になるようサポートするのが主な役割です。また、NST（栄養サポートチーム）やAST（抗菌薬適正使用支援チーム）にも従事しており、専門的な視点から治療に関わる機会も多くあります。多職種と協力しながら、患者さん一人ひとりに合わせた治療を考えるのは、やりがいのある仕事です。入社して4年目になりますが、病棟業務やチーム医療を通じて学ぶことが多く、日々成長を感じています。これからも専門知識を深め、より良い医療の提供に貢献していきたいです。



園田 隆樹さん
新卒 / 入社 4 年目
薬剤師
崇城大学 出身

よくある質問

Q 新卒薬剤師向けの研修はどのような内容ですか？

当院では、新卒薬剤師が安心して成長できるよう、1年目は教育担当の薬剤師が年間・月間目標を設定し、進捗をしっかりサポートします。

□ 1年目の目標

調剤業務全般と病棟業務を一人でこなせるようになることを目指します。特に、7月頃からは病棟へ出向き、先輩薬剤師の指導のもとで実践的な経験を積みながら学んでいきます。

□ 2年目以降の成長支援

2年目以降は、薬局長との面談を通じて個人目標を設定し、自分の興味やキャリアに応じたスキルアップが可能です。

□ 入社1か月の新卒研修

入社後1か月は、薬剤師だけでなく他の職種の新入職員とともに医療人・社会人としてのマナーやチーム医療の基礎を学ぶ研修があります。グループワークなどを通じて、職種を超えたつながりも生まれやすい環境です。このように、段階的な研修と個別のサポート体制を整えており、新卒の皆さんが着実に成長できる環境を用意しています！

Q 夜勤や当直はありますか？

当院では、夜勤や当直はありません。そのため、生活リズムを安定させながら働くことができます。ただし、週替わりでオンコール当番を担当する制度があります。これは、夜間や休日に急な薬剤対応が必要になった場合に、電話での問い合わせに対応するものです。実際に出勤が必要なケースは年間数件ある程度で、負担が偏らないようにチームで協力しながら対応しています。

Q 希望の診療科で働くことはできますか？ローテーションはありますか？

当院では、2年目から病棟を担当しますが、毎年1回、病棟の担当を見直す機会があります。その際に、本人と面談を行い、興味のある分野や希望する診療科を考慮して病棟配置を決定します。必ず希望通りの配属になるとは限りませんが、個人の意向をできる限り尊重し、適性やキャリアプランに合わせた配置を心がけています。また、さまざまな診療科を経験することで幅広い知識を身につけることができるため、将来的なキャリアの選択肢も広がります。

先輩スタッフの1日

8:30～9:00 ● 調剤業務・朝礼



9:00～10:00 ● 調剤業務・入院患者の情報収集

10:00～11:30 ● 入院対応
(カンファレンス・持参薬鑑別)



12:00～13:00 ● NST 回診

13:00～14:00 ● 昼食



14:30～15:30 ● 病棟業務
(リハビリカンファレンス・服薬指導)

15:30～17:30 ● 調剤業務



Q 医師や看護師とのカンファレンスにはどの程度関わりますか？

当院では、新卒は2年目から病棟を担当し、医師や看護師と連携しながら患者さんの治療に関わります。担当する病棟では、病棟回診や入院時のカンファレンスに参加し、薬剤の提案や管理を行います。さらに、病棟によってはリハビリカンファレンスや退院前カンファレンスにも参加し、患者さんの退院後の生活を見据えた支援を行うこともあります。また、当院にはNST（栄養サポートチーム）やAST（抗菌薬適正使用支援チーム）などの専門チームがあり、薬剤師も積極的に関与しています。チーム医療の一員として、より専門的な視点から治療に貢献できる環境が整っています。多職種と連携しながら、薬剤師としての専門性を活かして活躍できる機会が豊富です！

Q 病棟業務や調剤業務の割合はどのくらいですか？

病棟業務と調剤業務の割合は、担当する病棟やその日の状況によって変動します。当院では、薬剤師を調剤チームと注射チームの2つに分けて業務を担当しており、病棟回診や入院対応がある場合は、そちらを優先。その間の調剤業務は、残ったメンバーが対応する形をとっています。また、週に半日、病棟業務に専念できる時間が割り当てられており、その時間は病棟業務を優先して担当できます。担当病棟によっては、入院が多い、カンファレンスが多いなどの特徴があり、病棟業務の比重も変わりますが、チーム内で柔軟に対応できる体制になっています。



薬剤科 STAFF INTERVIEW



新卒 / 入社 5 年目 / 崇城大学出身
薬剤師 福田 琢郎さん

Q1. 桜十字に就職しようと思ったきっかけは？

A. 自分は診療科目問わず様々な症例を学びたい、その中でも感染症の分野に興味があり、認定薬剤師としてキャリアを積んでいきたいと考えていました。桜十字病院に見学のため足を運んだ際に、今後は感染症の分野に力を入れていこうと考えているとお話を伺い、自分の学びたいことができるのではないかと思います、桜十字病院を選びました。

Q2. 実際に入ってみて良かったと思ったことは？

A. 感染分野について自己研鑽できる環境が整っていることだと思います。新人教育の環境も整っているため、頼れる先輩方に助けていただきながら、不安なく業務を覚えていくことができます。それだけでなく、薬局や他職種スタッフとも公私問わず仲がいいことも魅力だと感じています。また、安くておいしい、社員食堂を利用できるため助かっています。

Q3. 学生さんに就活についてのアドバイスはありますか？

A. 薬剤師は多くの場所で活躍できる職業です。そのため職場選びに悩む学生さん多いと思います。仕事に対して何を求めているのか（環境、給料、休日、福利厚生など）を自己分析すること大切だと思います。皆さんと同じ職場で仕事ができる日を楽しみにしています。

MY PRIVATE

学生の時から筋トレが趣味で、現在も仕事終わりにジムに通っています。平日、休日問わず、プライベートを充実させることができるのも、桜十字病院の魅力だと感じています。



新卒 / 入社 6 年目 / 熊本大学出身
薬剤師 木村 彩さん

Q1. 桜十字に就職しようと思ったきっかけは？

A. 高齢化社会が進む中で、桜十字病院は地域に根付いた慢性期病院であり、病態を学び医療に貢献したいなと思ったからです。また、薬剤科では、多職種連携を通してポリファーマシー対策に力を入れていることを聞き、多職種連携に興味をもったからです。見学をした際に、薬剤科の雰囲気が良さそうだったことや、病院全体が綺麗で明るいところも印象的でした。

Q2. 実際に入ってみて良かったと思ったことは？

A. 当院では多職種と連携し、ポリファーマシー対策や退院支援に積極的に取り組んでいます。患者さんの退院後の生活を見据えた薬剤調整や服薬指導を行い、直接感謝の言葉をいただけることが大きなやりがいです。また、糖尿病療養指導士の資格を活かし、外来患者さんのサポートにも携わるなど、幅広い分野で活動できます。チーム医療の中で専門性を発揮し、成長できる環境が整っています。

Q3. 学生さんに就活についてのアドバイスはありますか？

A. 就職活動では、自分が何を大切にしたいかを考えることが大切です。やりがい、給与、勤務体制など、人それぞれ優先順位は違います。実際に見学して職場の雰囲気を感じるのもおすすめです。私は、多職種と連携できる環境や資格取得のサポートが充実していること、夜勤がなく定時退勤が多いことで QOL が高い点に魅力を感じ、桜十字病院を選びました。自分に合った職場を見つけて、納得のいく就職をしてください。

MY PRIVATE

休日は友人たちとお出かけやご飯に行くことが多いです。就職後、院内で仲良くなった看護師など他職種ともプライベートで会う機会も多く、交友関係も広がり楽しく過ごしています。





社員食堂

毎日厨房で手づくりされている社員食堂のお昼ごはんは、デザートまでついて 1 食 350 円。熊本県産の素材をメインに使い、たくさんの料理をビュッフェ形式で提供。スタッフの健康を考えた、栄養たっぷりの食事をとることができます。



わんぱく保育園

病院の敷地内にあるスタッフ専用の保育園。0 歳児から年中さんまで預けることができます。



サークル・部活動

公認サークル制度を設け、社内のサークルや部活動を推進しています。公認サークルには活動費の補助が出るため、少ない手出しで楽しむことができます。部署や職種の垣根を越えてさまざまなスタッフと仲良くなるきっかけにも！2 つまでかけもち OK です♪

▼公認サークル一覧

- ・ソフトボール
- ・フットサル
- ・バスケットボール
- ・バレーボール
- ・バトミントン
- ・駅伝・マラソン
- ・階段部
- ・スポーツケア
- ・国際交流
- ・ダンス



スポーツ観戦

桜十字グループは「熊本ヴォルターズ」や「ロアッソ熊本」「火の国サラマンダーズ」などのプロスポーツチームを応援しています。試合の観戦チケットを無料～社員特価で購入できます。メディメッセ桜十字では、アウェイ戦のパブリックビューイングを開催するなど、観戦や応援のきっかけづくりも行っています。



バースデーケーキ

誕生日のスタッフにはミニホールケーキとメッセージカードをプレゼント。職場みんなでお祝いします♪



表彰制度

院内学会、年間 MVP 賞、貢献社員への表彰など、桜十字には様々な表彰制度があります。



院内売店

郷土のデパート「鶴屋百貨店」が運営する売店です。飲食料品だけでなく日用品も販売しています。現金を持っていなくても社員証を使ってキャッシュレスで買い物ができます。

この他にも、無料駐車場、通勤手当、団体保険、提携企業による割引（引越、自動車購入、物販等）など、様々な福利厚生が用意されています。





グループ概要 08

2005年に熊本で創業。「これからの社会には何が必要か？」を考え、医療福祉事業に取り組んでいます。



動画の視聴は
こちらから

桜十字グループ概要紹介ムービー

「4分で分かる桜十字グループ」



病院事業（全国 3,461 床 / 23 施設）
変容する医療ニーズを満たし、地域社会を支える



人材事業
人と企業をつなぎ、地域の医療・介護への貢献を



高齢者住宅事業（全国 1,506 室）
医療や介護が必要な高齢者に、安心安全で豊かな住環境を



生殖医療事業
あたらしいいのちを育む、おてつだい



予防医療事業
豊かな社会実現のために、治療から予防医療へシフト



海外事業
日本の知見を海外へ。
海外の最新情報を日本に。世界の潮流を大切に。



フィットネス事業
「したい」を、「できる」に。桜十字の「リハビリジム」です。



ホテル事業
人の価値観を広げる旅を、快適にサポート



在宅サービス事業
「桜十字に相談すれば何とかなる」トータルサポート体制



スポーツ事業
生きる勇気と活力を。地域の未来を熱くする鼓動の源に



歯科支援事業
次代に向けた確かな連携で、持続可能な成長を支援

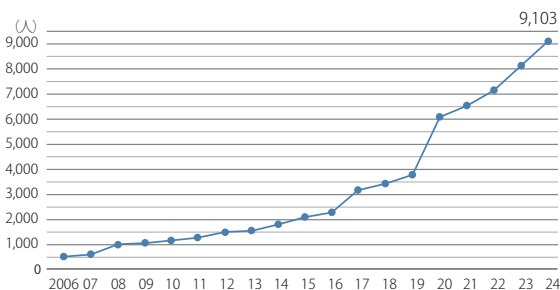


美容医療事業
アンチエイジングから“ウェルエイジング”の時代へ。



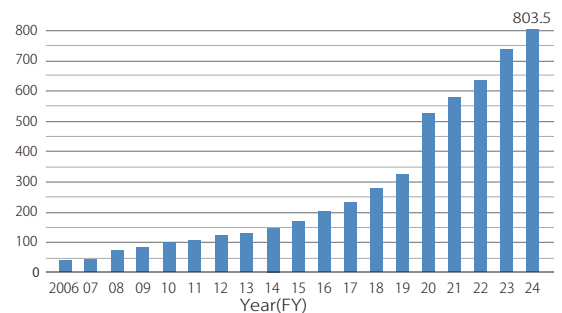
医療メディア事業
最新の医学情報を提供し、医療水準の向上に貢献する

総社員数（連結／単位：人）



病院機能評価 2020.6.5 認定
慢性期病院として全国 1 位 S 評価を 9 個獲得
「病院機能評価」とは、病院の医療の質を第三者
機関が評価する制度です。病院が備えているべき
機能について、中立・公平な専門調査者チームに
よる「病院機能評価」審査を行い、一定の水準を
満たした病院を「認定病院」としています。

売上高（グループ連結／単位：億円）



医療法人 桜十字は、熊本県より、働く人がいきいきと輝き、安心して働き続けられる「ブライト企業」に認定されています。

【ブライト企業の基本要件】

- 従業員とその家族の満足度が高い
- 地域の雇用を大切にしている
- 地域社会・地域経済への貢献度が高い
- 安定した経営を行っている



医療法人 桜十字

桜十字病院

〒861-4173

熊本県熊本市南区御幸木部1丁目1番1号

Tel : 096-378-1533(人事部直通)

Mail : jinji@sakurajyuji.jp

受付時間 / 9:00 ~ 17:00 / 土・日・祝日除く



桜十字採用 HP
Instagram
YouTube
X(旧 Twitter)
Facebook